

／ ライフケアサポート情報誌 ／

こもれび

K O M O R E B I



社会福祉法人 恩賜財団 済生会支部 鹿児島県済生会
済生会鹿児島地域福祉センター

〒890-0031 鹿児島市武岡5丁目51番10号

TEL.099-284-8250 FAX.099-284-8252

□ <http://www.saiseikai-kg.jp>

2020

vol.30

新年号



済生会 鹿児島地域福祉センターの 新たなステップ



皆様新年おめでとうございます。

皆様におかれましては、ご家族やお仲間とともに、佳き年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

令和元年は新天皇のご即位やラグビー日本代表の活躍など慶事の多い年でした。

済生会鹿児島地域福祉センターにとりましても令和元年は新たなステップを踏み出した年でありました。

まず、済生会鹿児島地域福祉センターは平成30年4月1日に鹿児島病院と連携し、医療介護福祉の切れ目のないサービスを提供できるよう済生会鹿児島地域包括ケアセンターを設置し、令和元年はその機能強化に取り組んできました。

医療機能の充実によって、利用者様の日常的な医療ニーズの充足はもとより、特別養護老人ホーム高喜苑等でも看取りができるようになりました。

さらにこれまで取り組んできた「済生会共に生きる地域包括ケア推進ボランティア養成講座」終了生を核とした新たな取り組みが始まった年でもありました。

済生会鹿児島地域福祉センターは済生会の創立の精神「施薬救療」の理念に基づいた

介護福祉サービスと生活支援のみならず、共生の地域づくりへの貢献を目指し、平成28年度から「済生会共に生きる地域包括ケア推進ボランティア養成講座」に取り組み、これまで84名の方々が修了生としてそれぞれの地域で健康づくりボランティア活動や共生地域づくり活動に取り組んでこられています。このボランティア活動をさらに発展させるため、令和元年12月に、NPO法人やどかり様と事業協定を結び、身寄りのない方々の住まいの確保と生活支援が出来るよう、済生会共に生きる地域包括ケア推進ボランティアの方々が済生会職員とともに利用者の生活支援をしていただくこととなりました。

利用者の方が大家さんと賃貸契約を結ぶ際にNPOやどかり様に保証人となっていただく、そして講座の修了生の皆さんが利用者の方の日常生活の見守りや相談相手や地域との繋がりづくりを支援していただくという事業がスタートしました。

この事業立ち上げの理由には、これまで身寄りのない方の住まいの確保に保証人として貢献してこられたNPO法人様の多くの事例から、折角住まいが確保されても終日人と接触しないで生活をし、閉じこもりとなり、生活ができなくなる事例が多いことが分かり、日常的に見守りや相談相手など誰かと繋がっていることが必要であるということが示唆されたことにあります。人間の健康や幸せには人との繋がりがあることが重要であるということは、近年のハーバード大学カワチイチロー博士らの社会科学分野の研究でも明らかとなっておりますが、今後の地域包括ケアシステムの推進には、単にサービス資源を増やし、調整するということばかりでなく、日常生活の場面での人と人との繋がりと互助の仕組みづくりが大変重要と考えられます。

特に生活困窮者の方々には一層の温かい繋がりへの支援が必要と考えられます。

それらのことより済生会地域福祉センターでは、医療介護福祉サービスのみではなく、共生地域づくりのボランティア様達とともに、さらに関係機関団体や住民の方々と連携して、地域で困っておられる方々が人々との繋がりの中で、日常生活が送れる支援に力を入れることといたしました。

済生会では現在「ソーシャルインクルージョン推進計画」を策定し、計画的進行管理を始めました。

「ソーシャルインクルージョン」とは、社会的に弱い立場にある人々をも含め、市民一人ひとり、排除や摩擦、孤独や孤立から援護し、社会の一員として取り込み、支え合う考え方のこととされていますが、まさに済生会の創立の精神を踏まえた使命発現の一つでもあります。

済生会鹿児島地域福祉センターでは、介護福祉の施設と事業所を設置し、これまで主に高齢者を対象としたサービス提供や生活支援や地域包括ケアへの貢献が中心でしたが、今後は高齢者に限らず、地域社会で、住まいの確保、就業、母子家庭、排除や孤立等で困っておられる方々などを包摂できる地域づくりにも力を入れたいと思っています。

このように済生会鹿児島地域福祉センターは、ゆっくりした足取りながら、着実に済生会の目指すソーシャルインクルージョンの地域づくりへの貢献を目指し、皆様方のご協力のもとに、その歩を進めています。

利用者様、ご家族様、関係者様、ボランティアの皆様方、そして地域の方々と繋がり、輪を強く広くしながら、皆が幸せに過ごせる地域社会づくりに一貫した歩を進めることができますよう職員一同願っております。

今年もどうかよろしくお願い申し上げます。

末筆になりましたが、皆様の今年のご健勝とご多幸を心よりご祈念申し上げます。

済生会鹿児島地域福祉センター

所長 吉田 紀子

明けましておめでとうございます。

皆様におかれましては、お健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

旧年中は、一方ならぬご厚情を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、今年は十二支の最初になる「子年」。干支が一巡して新しいサイクルがスタートする年です。

東京では2回目となりますオリンピック・パラリンピックが開催され、秋には鹿児島県で第75回国民体育大会「燃ゆる感動かごしま国体」が開催されます。

私たちも、現状に満足することなくさらに高みを目指して、新しいことにも果敢にチャレンジし、皆様に沢山の感動をお届けできるよう、熱い思いをもって全力で取り組んで参ります。

本年もよろしくお願い申し上げます。



済生会鹿児島地域福祉センター

副所長 向井 康子

永寿嘉福

特別養護老人ホーム 高喜苑



明けましておめでとうございます。

元号が令和になって初めてのお正月。入所様の中には大正、昭和、平成、令和と4つ目の時代のお正月を迎えた方もいらっしゃいます。

新しい年と一緒に迎えられた慶びを皆さまと一緒に共有し、今年も季節行事やレクリエーション活動を行い、楽しみもあり安全な生活のお手伝いをさせていただきます。

ご家族様、地域ボランティア様、今年も一年宜しくお願い申し上げます。



小さくても、やさしく幸せな時が重なることを願う
その人の思いに寄り添い
人と繋がる思いで支えたい

シルバーフラット武岡台



新年あけましておめでとうございます。
私たちシルバーフラット武岡台は、真に安心・安全で、お一人お一人がその方らしい、穏やかで潤いのある暮らしをお過ごしいただける施設を目指します。
本年もどうぞよろしくお願いいたします。



恭賀新春

なでしこの杜



サービス付き高齢者住宅「済生会なでしこの杜」は、今年で開設6年目を迎えました。福祉センターの中でも、最も新しい事業所です。私たちスタッフは、建物はもちろん恵まれた環境の中で、入居者の皆様や関連事業所のスタッフの方々と日々いろいろなやり取りをさせて頂きながらお仕事をさせて頂いています。昨年の流行語「ONE TEAM」をモットーとし、入居者の皆様が、ソフト面でも充実した環境の中暮らしていただけるよう努力して参ります。今年もどうぞ宜しくお願い致します。



新春萬福

グループホーム武岡ハイランド



新年明けましておめでとうございます。

皆様におかれましてはつつがなく新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

入居者、職員ともに新しい年を迎えることができ嬉しく思っております。

職員一同より良いサービスを提供できるよう努力して参りますので、さらなるご指導・ご鞭撻を宜しくお願い致します。

本年一年の皆様のご多幸をお祈り致します。



献寿歳旦

グループホーム武岡五丁目



明けましておめでとうございます。

今年も、皆さんが楽しく笑顔で過ごせるように、怪我や病気に気を付けながら敬いの気持ちでお手伝いさせていたきたいと思います。 本年も、宜しくお願い申し上げます。



美しい調和と文化への思い

武岡台デイサービスセンター



謹んで新春をお祝い申し上げます。

旧年中は、ご利用いただきまして、誠にありがとうございました。

去年は、皇太子殿下が御即位され、「令和」が新しい元号となりました。この「令和」には、人々が美しく心を寄せ合う中で、文化が生まれ育つ、という意味が込められています。

武岡台デイサービスセンターのご利用者様には、大正、昭和、平成、令和と4つの時代を生き抜かれている方々も少なくありません。戦争など厳しい時代を乗り越え、今、調和と文化の時代を迎え、過ごされていることになります。職員一同で、サービス提供を通じて、人生の大先輩を支えさせていただくことは、この上ない光栄でございます。

我々は、「令和」という時代に、相応しい暖かみのある事業所になれるように取り組む所存でございますので、変わらぬ御指導を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

本年も皆様が御健勝で御多幸でありますよう、心からお祈り申し上げます。



慶賀光春

なでしこ訪問看護ステーション



なでしこ訪問看護ステーション、皆様に支えられて2020年を迎えることができました。

皆様のご自宅に訪問させていただき、色々なお話を伺いながらケアを提供する中で、笑顔を見させていただくことが私たちの楽しみになっています。子年にちなんで「鼠が塩をひく」という慣用句を意識して、日頃から些細なことを見落とすことの無いよう、まだまだ未熟ではございますが、今年も精一杯努めさせていただきますので、よろしくお願いいたします。



誠心誠意

ホームヘルプステーション 高喜苑



新年 明けましておめでとうございます。
健やかな新年をお迎えになられたことと
お慶び申し上げます。
今年も誠心誠意、心のこもった質の高い
介護サービスを提供できるよう努力して参り
ますので、本年もよろしくお願いします。



安閑恬静

済生会サポートセンター なでしこ



皆様には穏やかな新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。
安閑恬静(あんかんてんせい)とは問題や心配事がなく心が落ち着いた静かな様子を意味します。「住み慣れた
地域で安心して暮らしを続けられる」を目指し、安らぎの介護サービスとなるよう努力して参ります。本年もよろしくお
願いします。



迎春万歳

謹んで新春のお慶びを申し上げます

私たちケアマネジャーはご利用者様おひとりおひとりがご本人らしく、望む生活を実現できるようサポートさせていただきます。

これからも皆様にご満足いただける支援を目指します。

本年もよろしくお願いいたします。



新春来福

謹んで新春のお慶びを申し上げます

本年も配食だけでなく、「笑顔」と「安心の目」で訪問いたします。

皆様がお元気で過ごされているかを確認するという、私達の大切な役目を果たしたいと思います。



敬寿瑞春

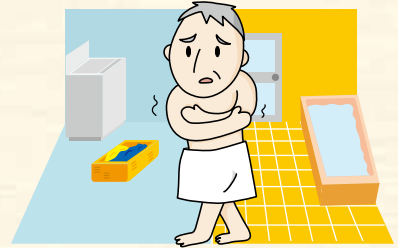
新年あけましておめでとうございます。

去年は新人さんも加わり、事務所もパワーアップしました。

2020年は子年!「子に臥し虎に起きるネズミ」のように、寝る間を惜しんで頑張って、今年もセンターを影ながら支えています。



冬の入浴について



冬場は浴場で高齢者が亡くなるケースが多くなります。もともと日本人は入浴を好みます。毎日の疲れを癒やして、明日への活力を養うための習慣としている人も多くいらっしゃると思います。ただ、冬の入浴には、あるリスクがともないます。それは、ヒートショックです。温度の急激な変化、寒暖の差によって血圧が急激に上がり、時には血圧が40もあがることもあるといいます。これが体に大きな負担をかけます。ひどい場合には、心筋梗塞や脳梗塞を起こす可能性もあります。そして、ヒートショックは冬場の入浴時に起きやすくなります。暖かい部屋から寒い脱衣所、そして暖かい湯船につかるという普段行いがちな行動が引き起こします。

日本では、年間1万9,000人が入浴中に死亡していると推計(出典:『「家」「居住施設」の「浴槽」での「不慮の溺死及び溺水」による年代別・人口10万人当たりの死亡者数』(消費者庁))もあり、特に65歳以上の高齢者は入浴中の事故の割合が非常に高いのが特徴です。2016年のデータでは、その年の交通事故による死亡者数3,061人より約1,700人も多い、4,821人の高齢者が入浴中の事故で亡くなっています。

入浴中の事故死は、年々増加傾向にあります。2011年からは交通事故を上回る状況が続いています。大きなポイントは、入浴中の溺死者の約90%が高齢者であることです。ではなぜ、高齢者はヒートショックを起こしやすいとされるのでしょうか。それは、次のような特徴を持つことが多いためです。
①身体機能の衰えによって体温調節力や皮膚感覚が鈍っていること。
②動脈硬化が進行している。
③血圧が不安定であること。
④障害や持病などで、循環器系や自律神経系の身体的なウィークポイントがあるがあげられます。では、ヒートショックは防ぐためには、どのような対応が必要なのでしょうか。

1.暖かい居間と脱衣所の温度差を電気ストーブなど使い5℃以内にすること。

できれば浴室にも暖房を置く事が望ましいですが、難しければお風呂の蓋を開けておく、お湯を溜める際に高い位置から温かいシャワーでお湯を溜める事で、浴室も温めることができます。

2.できれば日没前に入浴する。

日没後は、外気温も下がり、ヒートショックが起こる危険性が高まります。可能な限り、入浴時間を日没前にすることをお勧めします。

3.入浴の前後にコップ1杯の水を飲む。

水分補給を行う事で、水分不足による高血圧を予防することができます。

4.湯船に入る前に足元から掛け湯をして入浴する。

心臓から遠い所から徐々に慣らしていくために、必ず足元から掛けて、体をお湯の温度に徐々に慣れさせることが重要です。

5.湯船からはゆっくりと立ち上がる。

入浴時は水圧がかかり血管が収縮していますので、この状態でパッと立ち上がると、水圧がなくなって血管が開いている状態で、血液が頭に上がっていかなくなります。立ちくらみや貧血を起こしやすく、転んだりすることもあるので、注意が必要です。立ち上がる際には、手すりや浴槽のへりに手を置くなどして、ゆっくりと立ち上がるようにしましょう。

以上、冬場の入浴について危険性などをお話してきましたが、けして入浴を止めましょうということではありません。毎日入浴している人と、週2~3回の入浴、またはシャワーのみの人で比較した場合、65歳以上の5年後の要介護リスクは、1.85倍低いというデータ(出典:日本温泉気候物理医学会 2011年)もあります。リスクを予防して、楽しい入浴ライフを送りましょう。

鹿児島市老人福祉施設協会の ソフトボール大会に参加しました。

10月19日(土) 令和元年度 鹿児島市老施協ソフトボール大会が喜入総合運動場多目的グラウンドにて行われました。今回、久しぶりの参加となり、特別養護老人ホーム・武岡台ディサービスセンター・ホームヘルプステーション高喜苑・なでしこ訪問看護ステーション・指定居宅介護支援センター高喜苑から合同で9名が参加しました。

勤務終了後、武岡中央公園でナイター設備を借りながら練習を行い本番に臨みました。結果、グループリーグ予選での敗退でしたが、怪我をすることなく楽しみ、他事業所との交流も図ることができました。各事業所、勤務の調整をしながらの参加でしたが、「いい汗をかいだ」「また来年参加したい」等の声からあがりました。今後も法人内や他法人の事業所との交流を深めていきたいと思います。



武岡団地の秋祭りに参加しました。

鹿児島地域福祉センターでは、2018年に各部署の若手9名が集まり、「SNG9（済生会ネクストジェネレーション）」を結成しております。会では、質の向上に関する事、鹿児島地域福祉センターの知名度UP、地域貢献などについて話し合っています。

今回は、地域貢献と知名度UPのために毎年恒例となっている武岡団地の秋祭りに参加させていただきました。祭りは武岡商店街で行われ、私どもは1つのブースをお借りして祭り定番の“スーパーボールくじ”を行いました。準備の段階では、どの程度の方がいらっしゃるか不安だったのですが、いざ始まると開始直後からたくさん子ども達が来てくれ、スーパーボールくじを楽しんでいました。そして見事にお祭りの終了前には、準備していたスーパーボールが全て無くなるという大盛況ぶりでした。

子ども達がお家で今日の事を話し、子ども達には福祉について興味を持つきっかけとなり、親や祖父母の方には、「武岡には済生会があるんだ、困ったら相談しよう。」とっていただけたら、私たちの今回の活動が意義あるものであったなと思います。



〈基本理念〉 「救療済生」の済生会精神に則り、福祉に貢献する。

〈基本方針〉

1. 私達は、利用者から信頼され、満足していただける介護・福祉を目指して、常に利用者の立場に立ち、利用者の気持ちになって介護を行います。
2. 私達は、利用者の権利を尊重し、その意思に添えるよう努めます。
3. 私達は、常に利用者の安全に気を配り、安心して介護が受けられるように努力します。
4. 私達は、最新の介護知識や介護技術の習得に研鑽します。
5. 私達は、地域の人々と交流を図り、人々が求めている要望に応えられるよう努力します。

〈利用者の権利〉

1. その人格を尊重される権利があります。
2. 社会的地位・国籍・人種・宗教・性別などにより差別を受けることなく、公正・平等に介護を受ける権利があります。
3. 自分が受けている介護に関するすべての情報について知る権利があります。
4. 自分に関するすべての個人的情報を守ってもらう権利があります。

特別養護老人ホーム 高喜苑

〔介護老人福祉施設・短期入所生活介護事業所〕

〒890-0031 鹿児島市武岡5丁目51番10号

TEL 099-284-8253 FAX 099-284-8252

シルバーフラット武岡台

〔軽費老人ホーム／ケアハウス〕

〒890-0022 鹿児島市小野町2427番地2

TEL 099-283-6870 FAX 099-283-6871

済生会なでこの杜

〔サービス付き高齢者向け住宅〕

〒890-0022 鹿児島市小野町2427番地2

TEL 099-202-0710 FAX 099-283-4733

指定居宅介護支援センター高喜苑

〔指定居宅介護支援事業所〕

〒890-0022 鹿児島市小野町2427番地2

TEL 099-283-4737 FAX 099-283-4733

グループホーム武岡5丁目

〔認知症対応型共同生活介護事業所〕

〒890-0031 鹿児島市武岡5丁目16番23号

TEL 099-282-6081 FAX 099-283-3533

グループホーム武岡ハイランド

〔認知症対応型共同生活介護事業所〕

〒890-0022 鹿児島市小野町2427番地2

TEL 099-283-7231 FAX 099-283-7232

武岡台デイサービスセンター

〔指定通所介護・予防型通所介護事業所〕

〒890-0022 鹿児島市小野町2427番地2

TEL 099-283-6880 FAX 099-283-6872

済生会ヘルスサポートセンター武岡

〔ミニデイ型通所介護・運動型通所介護事業所〕

〒890-0022 鹿児島市小野町2427番地2

TEL 099-283-6880 FAX 099-283-6872

なでしこ訪問看護ステーション

〔指定訪問看護事業所〕

〒890-0022 鹿児島市小野町2427番地2

TEL 099-281-9292 FAX 099-283-4733

ホームヘルプステーション 高喜苑

〔指定訪問介護・予防型訪問介護事業所〕

〒890-0022 鹿児島市小野町2427番地2

TEL 099-283-6875 FAX 099-283-6876

済生会サポートセンターなでしこ

〔定期巡回随時対応型訪問介護看護事業所〕

〒890-0022 鹿児島市小野町2427番地2

TEL 099-283-6875 FAX 099-283-6876

訪問給食センター 高喜苑

〔鹿児島市委託事業所・配食事業〕

〒890-0031 鹿児島市武岡5丁目51番10号

TEL 099-283-4730 FAX 099-284-8255

鹿児島県済生会

〔支部〕

〒890-0031 鹿児島市武岡5丁目51番10号

TEL 099-210-5460 FAX 099-210-5560

編集 後記

明けましておめでとうございます。

2019年を振り返ると日本中が盛り上がった、ラグビーW杯が思い返されます。その中で流行語にもなった“OneTeam”という言葉。私たちもこれに倣い、多く事業所がひとつのチームとなって厳しいこの時代に立ち向かっていきたいと思っております。